新しい地域移住サポーターが委嘱されました

５月２６日、香美市で活動する**地域移住サポーター**の委嘱式が行われました。

地域移住サポーターは、移住を希望する方や、移住をしてきた方などの不安や要望について、一番身近な相談役として活動するもので、県が委嘱するものです。

今回新しく委嘱されたのは、島津佐知子さんと村井亮介さんの２人です。香美市では現在、今回新しく委嘱された２人と合わせ、４人の地域移住サポーターが活躍しています。県や市と連携しながら、移住定住を通して、地域をさらに元気にしていくための活動を進めていきます。

▶左から島津さん、村井さん

社会を明るくする運動

第６５回社会を明るくする運動強調月間にあわせて、７月１日に土佐山田町のプラザ八王子で同運動推進委員会主催による決起集会が開かれ、市内の各種団体や企業などから約１４０人が参加しました。

この運動は、犯罪や非行の防止と、罪を犯した人たちの更生に理解を深め、犯罪や非行のない明るい社会を築こうとする全国的な運動です。集会では、内閣総理大臣からのメッセージが読み上げられるなど、運動の意義を改めて考える機会となりました。

集会後、講演会や啓発ビデオの上映と並行し、広報車での巡回が行われ、運動への理解を呼びかけました。

▲明るい社会への誓いを新たに

繁藤慰霊祭

７月５日、**第４４回繁藤山崩れ殉職・殉難者追悼慰霊祭**が、哀悼の広場（土佐山田町角茂谷）で執り行われました。慰霊祭に先立ち、香長小学校の児童と鏡野中学校の生徒が、自分たちで折った千羽鶴を供え、全員で黙とうをささげました。慰霊祭には、遺族や関係者ら約１２０名が参列し、犠牲者のめい福を祈りました。

繁藤災害は昭和４７年７月５日、豪雨による追廻山の崩壊で生き埋めとなった消防団員の救助活動中に、大きな山崩れが発生した大災害です。新改川で流されて亡くなった１名と合わせ６１名の方が犠牲となりました。

知恵袋の会 留学生も交流

６月２１日、土佐山田町大平の森林総合センターで、**里山自然体験教室**が開催されました。

これは、情報交流館・知恵袋の会主催で行われたもので、森遊びや野遊びなど、昔から伝わる生活の知恵を子どもたちに教え、楽しみながら伝承していく取り組みです。当日は１００人を超える親子連れらが参加し、もち米をひいた米粉を使ったかしわ餅づくりや親子釣り体験など、いろいろな体験メニューを楽しみました。山田高校と姉妹校関係を結んでいるラーゴ高校の留学生も参加し、日本の文化に触れていました。

居合道・松原さん 優秀賞

６月２０日、香美市体育協会総会で、同協会に顕著な功績のあった松原英樹さん（香北町）が表彰されました。

松原英樹さんは、福島県営あづま総合体育館で開催された、第４９回全日本居合道大会五段の部で入賞されました。この功績を称え優秀賞が贈られました。

鏡野中剣道部 団体戦優勝

６月２１日、県立室戸体育館で開催された**第５５回高知県武道室戸大会剣道の部**で、鏡野中学校剣道部が団体戦優勝の成績を収めました。剣道団体戦はトーナメント戦で行われ、中学生団体の部には高知県内から２１チームの参加がありました。

優勝した部員らは優勝旗と共に大きな自信を手にし、誇らしげな顔を見せていました。

姉妹都市交流だより

北の大地で絆の踊り

▲札幌市内で踊る香美市の踊り子

第２４回ＹＯＳＡＫＯＩソーラン祭りが、６月１０日から５日間、札幌市で開催され、大勢の観客でにぎわいました。

今年は、踊り子隊と訪問団総勢３８人が参加し、姉妹都市積丹町と２１年連続で**ヤーレンソーラン積丹町＆香美市**※を結成し、参加しました。

一行は、１２日に積丹町に着き、合同練習を行いました。そして、１３・１４日の両日、大通公園をはじめとする札幌市内の会場で繰り広げられた本祭に参加しました。合同チームは５会場で、高知県の**よさこい鳴子踊り**と積丹町発祥の民謡**ソーラン節**を融合させた楽曲に乗って、笑顔と掛け声で元気よく踊り、大きな拍手と声援をいただきました。

※香美市２９人・積丹町４３人の総勢７２人の踊り子が参加。

香美市姉妹都市友好都市交流推進協議会（西山武会長）が主体となり、毎年行われている積丹町への訪問・交流事業（６月２７～２９日）で、１３人の訪問団が積丹町を訪れました。

札幌市内からも多くの観光客が訪れる**味覚祭り**には、今年で１９回目の参加となりました。とれたてのウニ・エビなどが入った直径1.5ｍの大鍋で作る浜鍋など、積丹町ならではの味覚を存分に楽しめるお祭りで、夜間は納涼祭や打ち上げ花火が行われるなど大変な盛り上がりとなりました。

訪問団は、会場で香美市の地場産品である土佐打刃物や、ユズの関連商品を販売したほか、高知県の味覚を代表する鰹のたたきを販売し、なかなかの盛況ぶりでした。

香美市の味覚北海道へ